



### 議員勉強会を開催

10月3日、名城大学大学院の鈴木輝明教授を講師にお招きし、令和6年度第1回議員勉強会を開催しました。伊勢湾の水産資源の減少が深刻化し、その要因として湾内に流入する栄養塩不足が指摘されているなど、「水産王国みえ」の復活に向けてはさまざまな課題があります。現在、三重県では今後10年間の施策の方向性等を定める「三重県水産業及び漁村の振興に関する基本計画」の策定を進めていることから、「豊かな伊勢湾の再生に向けて」と題して、お話いただきました。伊勢湾再生に向けての必要な視点について解説いただくなど、今後の三重県における水産業振興の在り方について考える機会となりました。



議員勉強会の様子

### インターンシップ実習生からの提案を受けました

県議会では、議会における監視機能の強化や政策立案の充実、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、インターンシップ実習生を受け入れています。21人目となる今年は、三重大学大学院の学生を実習生として受け入れました。実習終了後、議員を前に「立候補者の減少や無投票について」をテーマに報告会を開催しました。報告の中で、広聴広報活動の地道な継続・強化として主権者教育の継続などを提案いただくとともに、議員に立候補するにあたってのハードルの解消として、落選や辞職後に会社に復帰しやすい制度づくりなどの提案をいただき、議員との間で活発な質疑応答が行われました。



報告会の様子

### 「出前講座」を実施しました

県議会を身近に感じてもらうことを目的に、議員が学校に出向いて授業を行う「みえ県議会出前講座」を、学校からの申し込みを受けて実施しています。10月までに実施した、鈴鹿市立白子小学校、東員町立稲部小学校、国立大学法人三重大学では、広聴広報会議の委員が2名で学校を訪問し、県議会の仕組みや議員の仕事などを動画やスライド資料を使い授業したあと、皆さんからのたくさんの質問に答えました。



鈴鹿市立白子小学校



東員町立稲部小学校



国立大学法人三重大学

### 議員の辞職等について

鈴鹿市選出の下野幸助議員から議員辞職願が提出され、10月10日の本会議で辞職が許可されました。

また、伊賀市選出の稲森稔尚議員は、11月3日、伊賀市長選挙に立候補の届出を行い受理されたため、公職選挙法第90条の規定により同日付けで議員を退職しました。

これにより、11月3日現在、三重県議会議員は46人となりました。

なお、公職選挙法の規定により、今回、補欠選挙は行われません。

### 児童・学生からの質問

- ・県議会議員を目指したきっかけを教えてください。
- ・採決の時に賛成と反対が同数の場合はどうするのですか。
- ・議員として三重県の大学生に期待することは何ですか。 など

## 主な開催実績

#### 9月

- 13日 **ワンヘルス推進調査特別委員会**  
参考人の出席要求について 他
- 17日 **本会議**  
議案12件上程、認定議案4件上程
- 20日 **本会議**  
議案に関する質疑(1人)  
**伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会**  
関係法令・条例等について 他
- 25日 **本会議**  
一般質問(5人)  
**政策企画雇用経済観光常任委員会**  
みえ高校生県議会でも出された質問、提案を受けて
- 27日 **本会議**  
一般質問(4人)

#### 10月

- 1日 **本会議**  
一般質問(4人)  
**教育警察常任委員会**  
請願第27号に係る協議について
- 2日 **予算決算常任委員会**  
議案の審査
- 4日～9日  
**各常任委員会・分科会**  
議案の審査、所管事項の調査 他
- 10日 **本会議**  
議案1件上程・可決  
**予算決算常任委員会総務地域連携交通分科会**  
議案の審査  
**予算決算常任委員会**  
議案の審査

- 11日 **ワンヘルス推進調査特別委員会**  
執行部からの聴取について 他
- 15日 **本会議**  
代表質問(2人)  
**予算決算常任委員会**  
議案の審査  
**医療保健子ども福祉病院常任委員会**  
所管事項の調査 他
- 18日 **本会議**  
議案12件可決、認定議案4件認定、請願12件採択・1件不採択、意見書案13件上程・12件可決・1件否決、人事同意議案1件上程・同意、認定議案12件上程  
**予算決算常任委員会**  
議案の審査

※この他にも、さまざまな会議を開催しました

### 用語解説 (2～3ページの「一般質問」に関するもの)

- ① **自然保育**  
子どもの状況や発達過程を踏まえた適切な環境づくりや支援のもと、自然体験活動を通じて、子どもの豊かな人間性を育み、心身の調和の取れた発達の基礎を培うことを目指して行われる保育・幼児教育のことです。
- ② **レプリコンワクチン**  
接種後にメッセンジャーRNAが一定期間複製され、持続的にウイルスに対する抗体がつくられるため、少ない接種量でワクチンの効果が長く続くことが期待される次世代メッセンジャーRNAワクチンのことです。
- ③ **PMDA**  
独立行政法人医薬品医療機器総合機構の略。医薬品などの健康被害の救済、承認審査、安全対策を担う公的機関のことです。
- ④ **ガーデンツーリズム**  
地域の活性化と庭園文化の普及を図るため、各地域の複数の

庭園等の連携により、魅力的な体験や交流を創出する周遊型観光の取り組みのことです。国土交通省は、この取り組みを推進するため、平成31年に「ジャパンガーデンツーリズム登録制度」を創設しました。

- ⑤ **地域共生社会**  
制度・分野ごとの「縦割り」や、「支え手」「受け手」という関係を超え、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人や資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らし・生きがい・地域を、ともに創っていく社会のことです。
- ⑥ **リンクワーカー**  
健康課題や社会的課題を抱える対象者との対話を通じ、地域の活動や資源へつなぎ、社会資源を創出する役割を担う人のことです。
- ⑦ **社会的処方**  
薬の代わりに「社会とのつながり」を処方することで、個々が抱

- える問題を解決することを目指す取り組みのことです。
- ⑧ **インフレスライド**  
建設工事請負契約書第26条第6項に基づき、「予期することのできない特別の事情により、工期内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、請負代金額が著しく不適当となったとき」に、請負代金額の変更を請求できる措置のことです。

県は、国が定める運用マニュアル(案)を準用しており、そこには請負代金額の変更にあたっては、残工事費の変動額のうち、残工事の請負代金額の1%を受注者が負担することとされています。

- ⑨ **海業(うみぎょう)**  
海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業であって、国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるもののことです。